



2月4日は立春です。この日から春分までの間に吹く、暖かくて強い南風のことを「春一番」といいます。春の訪れを感じる名前ですが、竜巻などを引き起こすこともあり、注意が必要です。

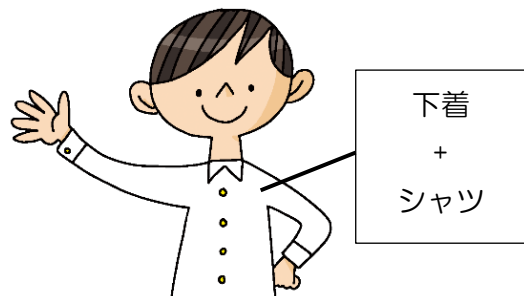
また、次の日には冷たい空気が流れ込んでくることも多く、まだまだ寒さには気を付けたい時期です。暖かくして、春が来るのを待ちましょう。



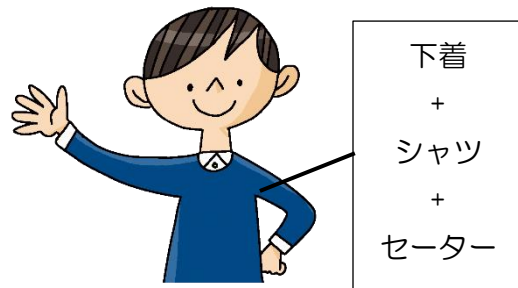
重ね着で寒い冬をのりにえよう!

寒いからと言って暖房器具に頼ってばかりいると、寒さの刺激が減り、室外の気温の変化に対応する力が弱くなってしまいます。重ね着をすると空気の層ができて、暖かく過ごせます。上手に重ね着をして寒い冬も健康に過ごしましょう。

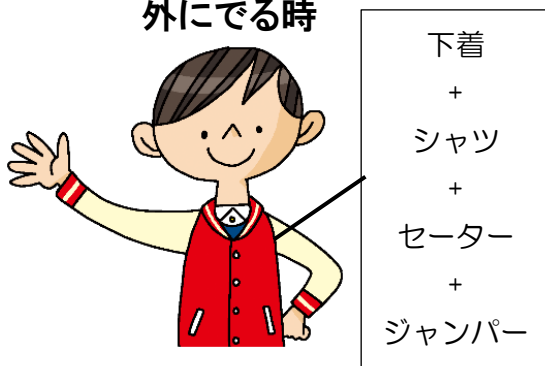
暖かいと感じる室内にいる時



少し寒いと感じる室内にいる時



外にでる時



風の強い外にでる時



性や命について

先月、子どもたちへ、発達段階に応じて、「プライベートゾーン」や「お腹の中の赤ちゃんの成長」、「生命の誕生」についての「性」についてのお話をしました。(6年生は3月に予定しています。)

高学年になると少し恥ずかしさが出てしまうかなと心配がありましたが、みんな真剣に聞いてくれました。性教育はとても大切なものだと思っても、親から子へはなかなか話しくいかもしれません。しかし、幼児期から学童期は、今後成長していく過程で正しく性と関われるようになるための土台を作るとしても重要な時期です。自分や大切な人を守るために、自分や異性の体について知ることが大切です。5年生児童には、夏に男女同時に月経と射精の際の下着の処理の仕方などについても指導をしています。体が大人になっていくことで不安になるお子様もいるかもしれませんが、決して恥ずかしいことではありません。子どもたちが安心して成長を受け入れられるように、ご家庭でも、折に触れて「大切な命・性」について、かしこまらずに、自然な流れでお子様と会話をしてみてください。



しっかりかんで歯っぴーになろう

3年生で「しっかり噛むこと」の授業を行いました。食べ物をしっかりと噛むととても良いことがたくさんあります。合言葉は、そのメリットの頭文字をとって「ひみこのはがーぜ」といいます。歯ごたえのあるものとそうでないものを食べ比べたり、昔の食事と今の食事での噛む回数を比べたりしながら、噛むことの大切さを学びました。

このまま噛むことを怠けてしまうと、未来の人間はどんなあごになってしまうかをシミュレーションした写真を見せると児童たちは衝撃を受けていました。自分たちで考えた「カミカミプラン」を実行して強いアゴに育てていきましょう!

